

CASBEE京都-新築(2011年版)
パインフィールド山科東野中井の上町新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE京都-新築(2011年)

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	評価点		重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境					0.40				2.7
1 音環境				1.0	0.15	3.3	1.00		3.0
1.1 騒音				-	-	3.0	0.50		
1 室内騒音レベル				-	-	3.0	0.50		
2 設備騒音対策				-	-	3.0	0.50		
1.2 遮音				1.0	1.00	3.6	0.50		
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				-	-	4.0	-		
2 温熱環境				1.3	0.35	3.3	1.00		3.1
2.1 室温制御				1.7	0.50	3.7	0.50		
1 室温				1.0	0.63	3.0	0.63		
2 負荷変動・造作制御性				-	-	-	-		
3 外皮性能				3.0	0.38	5.0	0.38		
4 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
5 温度・湿度制御				-	-	-	-		
6 個別制御				-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-		
8 監視システム				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				2.7	0.25	1.3	1.00		1.4
3.1 昼光利用				3.0	0.30	2.0	0.30		
1 昼光率				3.0	0.60	1.0	0.50		
2 方位別開口				-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				1.0	0.30	1.0	0.30		
1 照明器具のグレア				-	-	-	-		
2 昼光制御				1.0	1.00	1.0	1.00		
3 視認性対策				-	-	-	-		
3.3 照度				2.0	0.15	1.0	0.15		
3.4 照明制御				5.0	0.25	1.0	0.25		
4 空気環境				3.2	0.25	3.1	1.00		3.1
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質				4.0	1.00	4.0	1.00		
2 アスベスト対策				-	-	-	-		
3 ケニ・カビ等				-	-	-	-		
4 レジオネラ対策				-	-	-	-		
4.2 換気				2.0	0.40	1.6	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				-	-	1.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4 換気計画				-	-	-	-		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				1.0	-	-	-		
2 喫煙の制御				1.0	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.3
1 機能性				2.2	0.40	2.6	1.00		2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観				1.0	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				1.0	-	-	-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				2.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.6	0.31	-	-		2.6
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-		
1 耐震性				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.29	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				-	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.12	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.29	-	-		

2.4 信頼性					1.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				1.0	0.20	-	-	
3	電気設備				1.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				1.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					2.5	0.29	1.5	1.00	1.6
3.1 空間のゆとり					-	-	1.0	0.50	
1	階高のゆとり				-	-	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)		-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					-	-	2.0	0.50	
3.3 設備の更新性					2.5	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		1.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース				3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.4
1	生物環境の保全と創出	●とも	A'(全国版準用)		1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	○	C(独自加点) D(独自基準)		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●とも、 自然	A'(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.6
1	建物の熱負荷抑制				1.0	0.40	-	-	1.0
2	自然エネルギー利用				4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	●自然	A(全国版準用)		5.0	0.50	-	-	
3	設備システムの効率化				8.5	0.40	-	-	8.5
	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				#VALUE!		-	-	
	集合住宅の評価				8.5		-	-	
4	効率的運用				-	-	-	-	-
4.1	モニタリング				-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制				-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.6
1	水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水				4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減				2.5	0.63	-	-	2.5
2.1	材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)		1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.24	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避				2.6	0.22	-	-	2.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避				2.5	0.68	-	-	
1	消火剤				-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	
3	冷媒				2.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.4
1	地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	-	3.3
2	地域環境への配慮				2.0	0.33	-	-	2.0
2.1	大気汚染防止				1.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	●とも	A(全国版準用)		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.33	-	-	
2	汚水処理負荷抑制				-	-	-	-	
3	交通負荷抑制				4.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33	-	-	
3	周辺環境への配慮				2.1	0.33	-	-	2.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音				3.0	0.33	-	-	
2	振動				3.0	0.33	-	-	
3	悪臭				3.0	0.33	-	-	
3.2	風害、日照阻害の抑制				1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制				1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制				-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制				1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				1.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●大切	B(推奨内容)		3.0	0.30	-	-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともにも使う 「自然」:自然からつくる